

### 高幡地域の目指すべき姿（産業振興の方向性）

農業分野・・・まとまりのある産地づくりを進め、ミョウガやショウガなど全国でも上位のシェアを誇る園芸品目の生産拡大などを図る。併せて、アスパラガスなどの有望品目の導入を進めるとともに、県内産加工品の原料としてユズの契約栽培や栗団地の再生などにも取り組む。

林業分野・・・「森の工場」づくりを推進し、素材増産に取り組むとともに、木材市場の再生と加工製品の品質向上を進める。また、森林認証材の付加価値を高めるための取組を進めるとともに、木質バイオマスや森林セラピー、特用林産物の生産・販売の取組なども含めた幅広い森林資源の有効活用を目指す。

水産業分野・・・スラリアイスを活用した魚価向上対策やシイラの加工販売、カツオを使った商品開発などに取り組む。また、インターネットや直販所など多様な販売チャンネルの開拓や地場の魚を広くPRする取組を進める。併せて、クマエビの種苗放流などによる栽培漁業の推進や藻場の回復に取り組む。

商工業分野・・・須崎市まち全域がサービスエリア構想の推進や地域の中心商店街の活性化を図り、魅力あるまちづくりを進める。また、クリーンエネルギーゾーンとしての産業集積を目指すとともに、地場企業の振興や地域の特産物を使った加工や商品開発などにも取り組む。

観光分野・・・山・川・海の恵まれた自然や伝統文化を活かした滞在型・体験型観光の推進に取り組む。また、高速道路の延伸効果とあわせ、都市部からの誘客に取り組む。

### 主な指標及び目標

項目	計画策定時	目標	現状
宿泊施設宿泊者数(抜粋) <注1>	H19: 22,214人	H23: 23,876人	H22: 21,620人
シイラの加工品販売額	H19: -	H23: 3千万円	H22: 738万円
森林認証材(加工品)の販売量	H19: 1,666㎡	H23: 1,804㎡	H22: 1,219㎡
森の工場の木材生産量	H19: 1,784㎡	H23: 11,215㎡	H22: 9,658㎡
主要農産物(ミョウガ)の販売額	H19: 62.5億円	H23: 66.2億円	H22: 65.5億円
ビジネス拠点組織の直販所等販売額<注2>	H19: 430百万円	H23: 530百万円	H22: 427百万円

注1: 雲の上ホテル、マルシェ・ユスハラ、松葉川温泉、天狗荘の合計  
注2: 津野町関連直販所5店舗の直販販売額と「道の駅」あぐり窪川の販売額の合計

### 取り組みの成果と今後の方向性

高幡地域では、37の地域アクションプランを実施し、概ね計画どおり進んでいるが、事業が動き出したことに伴い、状況変化や安定的な事業運営など課題が出てきた事業もある。

●取組の成果  
○農業分野では、まとまりのある産地づくりが進み、基幹品目であるミョウガの販売額は過去最高の65億円に達した。中山間地域では、アスパラガス、農協間連携によるユズの産地育成やビレッジ影野農事組合法人の設立等集落営農の取組が進んでいる。また、ブランド化や加工の取組では、ジンジャーシロップの製造を行う加工施設の整備や四万十葉のブランド化と栗園地の再生を図る取組が始まった。

○林業分野では、「森の工場」が13団地増設され18団地となっている。建設事業体とのジョイントや下請けによる分業化も進んでいる。津野山産原木シイタケの生産・販売・収入の拡大の取組が、本格的に始動している。また、協働の森づくり事業では新規の協定林も締結され、協定企業と連携した商品開発や循環型の森づくり、地域環境に配慮した森林整備等が進んでいる。

○水産業分野では、四万十町で漁業者による企業組合が設立され、水産加工業者にシイラのフィレを納入する等連携した取組も進んでいる。須崎市久通では藻場の回復に向けた取組が進み、全国的にも注目される事例となっている。また、中土佐町ではスラリアイスを活用した鮮度保持実験が進んだ。

○商工業分野では、津野町や四万十町で直販所等の拠点施設を中心にした農産物・加工品の販売システムづくりや商品開発、施設整備の取組が進んでいる。中土佐町では、賑わいの創出を目指して新港背後地への多機能施設整備に向けた取組が始まっている。「かつお」まるごと商品開発プロジェクトでは、新商品の開発が進み、販売拠点となるファーストフード店も開店した。また、須崎市のまち全域がサービスエリア構想では観光案内等の拠点施設の整備や構想を推進するNPO法人が設立された。

○観光分野では、須崎市のドラゴンカヌーや鯉のタタキづくり体験、中土佐町の久礼のまち歩き、津野町・梶原町の森林セラピーロード等の滞在型・体験型観光の取組が進んでいる。ゆすはら・維新の道社中は、99,099人の来場者で賑わい、地域特産品の販売や観光情報の発信拠点となるまちの駅「ゆすはら」も開館した。また、四万十町では平成23年7月に「海洋堂ホビー館四万十」がオープンし、1か月で15,000人を突破するなど、交流人口の拡大に繋がっている。

●今後の方向性  
こうした成果をふまえ、引き続き一次産業の振興に取り組むとともに、次に示すような「連携」を意識した全体的な地域産業の振興に取り組んでいく。  
・高速道路の延伸効果も含めて高幡地域の資源を上手く繋げることによる、都市部からの滞在型・

### 1.園芸品目等の地域基幹品目の振興 3.まとまりのある産地づくりと農家の所得向上 6.基幹品目及び推進品目等の維持・発展による地域農業の活性化【高幡地域全域】

**取組の内容**  
・収量、品質向上対策  
・有望品目の導入、定着  
・集落営農組織の定着等

**主な成果**  
・ミョウガの販売額: H19 62.5億円→H22 65.5億円  
・「学び教える場」の設置: H19 6品目29箇所→H22 12品目42箇所  
・アスパラガス: 16戸、2.5ha、出荷量49.1t、販売額4.16千万円(H22)  
・農協間連携によるユズ産地育成: 新植12,000本(約17ha)(H20~22)  
・集落営農組織の育成: ビレッジ影野農事組合法人設立(H21)

**今後の方向性**  
・「学び教える場」の内容の充実  
・出荷計画の共有と目標達成のための技術改善や作付け指導  
・研究会活動の活性化等



### 36.梶原町の体験型・滞在型観光の推進【梶原町】

**取組の内容**  
・誘客活動  
・志国高知龍馬ふるさと博に向けた取組

**主な成果**  
・ゆすはら・維新の道社中  
来場者99,099人、ガイド利用者12,315人(最終)  
・まちの駅「ゆすはら」や雲の上のギャラリーのオープン(H22)  
・雇用の創出: 正3人、短期6人

**今後の方向性**  
・志国高知龍馬ふるさと博の取組の推進  
・まちの駅「ゆすはら」を核とした地域特産品の販売や観光情報の発信  
・地芳道路開通を活かした売込み



### 17.津野山産原木シイタケの生産・販売・収入の拡大【津野町・梶原町】

**取組の内容**  
・営業体制の強化と直販ルートの開拓  
・シイタケ生産施設の整備(ハード整備等)  
・生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり

**主な成果**  
・販促活動等を通じた津野山産原木シイタケの評価や知名度の向上  
・JA津野山を通じた直接販売先の確保(3件)

**今後の方向性**  
・生産拡大と併せた直接取引の割合の向上  
・生産技術の向上と新規生産者の確保



### 25.シイラを柱とした水産加工業の創設【四万十町】

**取組の内容**  
・事業経営の確立  
・シイラ加工原材料供給力の強化  
・シイラ加工商品の開発

**主な成果**  
・企業組合の設立(H21.6)  
・新たな加工販売施設の開設(H22.4)  
・三枚御機やヘッドカッター、金属探知機等の導入(H22.11)  
・雇用の創出: 正3人、短期5人  
※H22売上目標: 19,200千円 実績: 7,382千円

**今後の方向性**  
・企業組合の経営力の強化  
・商品の安定供給体制の確立



### 26.シイラ加工食品の生産拡大【四万十町】

**取組の内容**  
・シイラの商品化と竹輪の製造ラインの整備(H23.1)  
・新商品の販売開始(H23.3~)

### 12.森の工場の推進【高幡地域全域】

**取組の内容**  
・森の工場の整備  
・木材生産の拡大  
・林業事業体の育成等

**主な成果**  
H19 H21 H22  
・森の工場: 5 → 17 → 18団地  
・木材生産: 1,784 → 2,322 → 9,658㎡  
・林業事業体の育成: 建設事業体の参入(単独1、JV6、下請3)

**今後の方向性**  
・「森の工場」の拡大推進  
・現場にマッチする効率的な作業システムの導入促進  
・林業事業体へのマネジメント研修、就労環境の改善等



### 32.津野町地域資源「ふる」活用ビジネス事業【津野町】

**取組の内容**  
・直販所を活かした農産物販売システムの構築  
・地域資源を活かした交流人口の拡大  
・新たな加工所やアンテナショップの整備

**主な成果**  
H19 H21 H22  
・直販所売上高: 110 → 126 → 136百万円  
・宿泊者数: 8,925 → 9,355 → 9,619人  
・森林セラピーロードの整備(檜チップの敷設1km)、観光ガイドの育成(8人)(H21)  
・地域資源を使った土産品や惣菜等を試作  
・道の駅「布施ヶ坂」の改修  
・雇用の創出: 正2人

**今後の方向性**  
・新たなアンテナショップと加工所の整備  
・運営組織の健全化計画の策定



### 27.須崎市まち全域がサービスエリア構想推進事業【須崎市】

**取組の内容**  
・サービス提供体制の確立  
・まち案内サービスの向上  
・地域資源の整理とサービスメニューづくり等

**主な成果**  
・休日に魚を販売する施設やまちかどギャラリーほっとひと息休憩所のオープン(H21)  
・NPOまちづくり須崎の設立や駅前観光案内施設のオープン(H22.4)  
・SAT情報館の再オープン(H22.6)  
・「駅前食堂」オープン(H22.8)  
・来夢来渡フェアの開催75,000人(H22.11)  
・SATまつりの開催(H23.2)  
・雇用の創出: 正7人、短期11人

**今後の方向性**  
・NPO法人まちづくり須崎等と連携した魅力づくりの推進



### 30.「かつお」まるごと商品開発プロジェクト【中土佐町】

**取組の内容**  
・かつおを使った商品開発  
・地元や都市部等での販路拡大

**主な成果**  
・ファーストフード店「DO'KUREMON」オープン(H22.4)  
・新商品開発: スープカレー、生姜ロール、漁師のラー油等  
・雇用の創出: 正3人、短期11人  
※H22店舗売上目標10,705千円→7,989千円  
※H22全体の売上目標19,705千円→38,190千円

**今後の方向性**  
・経営方針の確立



### 37.海洋堂ホビー館を活かした観光人口の拡大【四万十町】

**取組の内容**  
・「海洋堂ホビー館 四万十」の整備  
・運営・受入体制の整備

**主な成果**  
・「海洋堂ホビー館四万十」H23年7月9日オープン  
※H23目標: 入館者3万人 実績: 18,215人(8月10日現在)  
・(株)奇想天外設立(代表取締役 海洋堂館長)  
・雇用の創出: 正3人

**今後の方向性**  
・四万十町の新たな観光拠点としての活用



### 24.スラリアイスを活用した魚価向上対策【中土佐町】

**取組の内容**  
・鮮度保持及び品質管理の方法の確立  
・本格的取引を見据えた評価協力店の確保  
・地元漁業者や関係業者等への普及・啓発

**主な成果**  
・スラリアイス実験施設(76㎡)の整備(H21.11)  
・スラリアイス製造機械(2t)追加導入(H22.10)  
・カツオやマグなど9魚種の鮮度保持実験を実施  
K値測定でカツオの有効性証明  
・官能試験の協力店舗18件(県外2件、県内7件、町内9件)  
・雇用の創出: 正1人



**今後の方向性**  
・本格的取引に向けた具体的販売戦略や運営体制等の検討